

牛の異常産をワクチン接種で予防しましょう！

- ◆例年、当所でも蚊などの吸血昆虫が媒介する異常産関連ウイルスの予防接種を奨励、指導しています。
- ◆管内でも、昨年夏から秋にかけて、アカバネウイルスやアイノウイルスの侵入を示す抗体価上昇が認められ、実際に異常産等のリスクが高まっていることが裏付けされています。
- ◆早春以降、吸血昆虫が活発に活動する時期に入ります。毎年、適切にワクチン接種することで異常産関連ウイルスの感染を防ぎ、発生予防につなげましょう。



疾病名	アカバネ病	アイノウイルス感染症	チュウザン病	ピートンウイルス感染症
感染時期	初夏から晩秋			
症状	異常産 死流産 体形異常 神経症状	異常産 体形異常 盲目 起立不能	異常産 神経症状 盲目 起立不能	異常産 体形異常 死流産
予防方法	アカバネ病 ワクチン	異常産3種混合ワクチン		
		異常産4種混合ワクチン		



◎3混及び、4種混合ワクチンの**初年度接種は2回必要**です。
 ◎流死産、奇形などが発生しましたら、当所へご連絡ください。

京都府丹後家畜保健衛生所(京都府家畜畜産物衛生指導協会)
 TEL:0772-43-1125(休日・夜間転送) FAX :0772-43-1124